

2025 JUA/EAU Resident Programme 参加報告

篠原 知 樹 (福岡大)

このたび、2025年3月にスペイン・マドリードで開催されたEAU25（欧州泌尿器科学会）において、JUA/EAU Resident Programmeの一員として参加させていただくという大変貴重な機会をいただきました。選考結果の通知メールを受け取った瞬間は、胸が躍るような興奮と同時に、「初めての海外学会」「ヨーロッパに一人で行く」という未知への緊張と不安が一気に押し寄せたことを、今でもはっきりと覚えています。

参加決定後は、JUAのご担当者の方とメールで連絡を取らせていただき、丁寧で迅速なご対応に非常に安心して準備を進めることができました。事前にEAU側の担当者とのZoomによる簡単なインタビューもあり、英語でのやり取りに緊張はしたものの、非常に親しみやすく穏やかな対応で、少しずつ不安も解けていきました。

今回から新たな試みとして組み込まれた病院見学プログラムでは、マドリード市内の病院に訪問し、現地の手術見学を行いました。合間に行われたHoLEPに関する講義やレクチャーは非常にわかりやすく、自分の臨床にも直結する内容ばかりでした。また、現地のレジデントの先生方や、他国から見学に来ていた若手医師たちと交流できたことも、大変刺激的な経験となりました。

そして、初めて足を踏み入れたEAU Congressは、その規模の大きさ、参加者の熱量、発表内容の充実度すべてに圧倒されました。会場は巨大なコンベンションセンターで、多数のセッションが並行して開催されており、

自分の興味に応じて最新の知見を自由に学べる環境は本当に贅沢で、有意義な学びの場でした。また、個人的に最も印象に残っているイベントは、EAU2日目の夜に開催されたYUOR Partyです。世界中から集まった若手泌尿器科医がバーのような空間でリラックスして交流できる機会を提供してくださいました。「誰が最初に話しかけに行くかジャンケンで決めよう」となったとき、自分が負けて内心焦りましたが、いざ話してみるとすぐに打ち解け、多くの仲間と交流を持つことができました。今でもSNSを通じて繋がりを保っていることを、とても嬉しく思っています。

滞在中は、同じく本プログラムに参加していた相村光貴先生、坂本みき先生と行動をとることが多く、お二人には本当に助けていただきました。特に相村先生はEAUにてポスター発表をされており、その姿はとても刺激になりました。お二人とはこのプログラムを通じて親交を深めることができ、今後とも良いご縁として大切にしていきたいと考えています。

最後になりましたが、今回このような素晴らしい機会をいただきました日本泌尿器科学会（JUA）ならびに欧州泌尿器科学会（EAU）関係各位、現地で病院見学を受け入れてくださった医療機関の皆様、快く送り出してくださいました医局の先生方、そして本プログラムへの推薦とご指導を賜りました教授に、心より感謝申し上げます。



写真1 EAU 総会での集合写真



写真2 病院見学の際、休み時間に撮った写真（自撮り）